

震災を教訓とし県民の防災意識を高め、県民の安心・安全の確保に邁進します。

岩手県（遠野市・釜石市・大槌町・山田町・宮古市）

静岡県では、3月26日から岩手県遠野市に現地支援調整本部を設置した。津波による甚大な被害を被った山田町や大槌町に、必要な物資等の搬送や人的支援を、県内市町の協力を得ながら継続的に行なっている。沿岸地域を調査してきましたが、瓦礫の撤去は進められつつあるものの、目を覆いたくなるような惨状が残されていた。

庁舎が被害に遭い、多くの職員とともに町長が犠牲となった大槌町では、やっとプレハブによる仮庁舎が設置されたばかりであり、町の機能が完全に喪失され、被災者支援に困難をきたしている様子が伺えた。

山田町では、沼崎町長から被害状況の説明を受ける機会を得た。県の情報収集及び初動体制が十分機能せず、非難活動に困難を極めたことを涙ながらに話して頂き、今後の防災計画に反映させる必要性を痛感した。

宮古市田老地区には、全国に誇る高さ10m余のスーパー堤防が備えられていたが、大破し津波被害は街の奥深くまで及んでいた。ハード対策の限界と、『地震が起きたら、津波が来るから逃げろ!』ということを再認識した。



▲遠野市現地調整本部



▲山田町、沼崎町長と面談



▲全壊した大槌町役場



▲大槌町の仮役場



▲釜石市、釜石港の被災現場



▲田老地区の堤防崩壊現場

宮城県（石巻市、南三陸町、多賀城市、南相馬市）とボランティア活動

6月に青年部有志とボランティア活動に参加、貴重な経験をする事ができた。石巻専修大学に設けられたボランティアセンターには長期滞在者のテント村もあり、全国各地から500人が集結していた。受付でマッチングと作業道具の貸出しが行なわれ、自己完結型の支援活動が各々の能力に合わせて開始された。私たちは北海道から来た青年とともに、市街地の津波被害に遭われた民家の泥かき作業にあたり、被災家族から感謝の言葉を頂くことができた。



▲石巻ボランティアセンター受付



▲多賀城市の被災現場



▲南相馬市の立ち入り禁止地区



▲民家の泥かき作業



▲ボランティア参加青年有志

第6回食育推進全国大会

6月18日・19日三島市で開催!

総理府、静岡県、三島市の共催による食育推進全国大会が、延べ7万人余の多くの来場者を迎え盛大に開催された。豊富な食材を活用した“食の都づくり”に取り組む静岡県を全国にアピールする絶好の機会となった。



宮沢正美事務所

二期目がスタートし、市民の皆さまの付託に応えるため奔走西走、日々精力的に活動しております。

県政についてのご意見や要望、また日々の生活のなかでの相談がある方はお気軽に事務所にお立ち寄り下さい。

三島市南本町 14-15(三島柔道会館前)
電話 055-991-1818 Fax055-991-1828
(携帯) 090-1825-2183